

○平成30年 文部科学省委託事業「日独学生青年リーダー交流事業」

地方施設プログラム (H30.8.29 (水) ~9.3 (月))



◆目的

ドイツの青年団等でリーダーやボランティアとして活動する学生・青年が、文化体験、意見交換、関係機関や団体で体験活動等を行うことにより、青年リーダーとしての資質を高めるとともに、日本とドイツの相互理解と交流の発展を図る。あわせて、本事業を当所が地域の協力を得ながら実施することにより、近隣地域における国際理解や国際交流に関する機運の醸成を図る。

◆参加実績

ドイツ団員 16名、団長1名、通訳3名、機構本部1名
 法人・大雪ボランティア 15名、ホストファミリー 16家族

◆プログラム

日時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	<宿泊>
8/29 (水)	【移動】羽田空港→旭川空港				空港内歓迎	空港内昼食	移動	オリエンテーション	①交流レク	歓迎会		自由交流 入浴 ミーティング	就寝	大雪 交流の家					
8/30 (木)	起床	つどい	朝食	活動準備	②法人ボランティア 活動紹介 意見交換		昼食	③選択活動 A.ハイキングコース研修 B.施設内クラフト研修		つどい	夕食	自由交流	入浴 ミーティング	就寝	大雪 交流の家				
8/31 (金)	起床	つどい	朝食	活動準備	移動	④美瑛町内小学校訪問 授業参観・交流		移動	ホームステイ準備	対面式	⑤ホストファミリープログラム				ホスト ファミリー宅				
9/1 (土)	ホストファミリープログラム										・ドイツ団16名が分かれ、美瑛町や旭川市等に住む家庭に入り、日本の文化に触れる機会とする。				ホスト ファミリー宅				
9/2 (日)	ホストファミリープログラム										帰所	⑥歓送会	成果発表会準備 入浴 ミーティング	就寝	大雪 交流の家				
9/3 (月)	起床	つどい	朝食	活動準備	⑦成果発表会		昼食	出発式	札幌へ移動				札幌市内 ホテル						

(詳細プログラム内容)

①交流レク	ドイツ団参加者と法人ボランティアがレクレーションを通して交流を深めた。
②法人ボランティア活動 紹介・意見交換	法人ボランティアが交流の家での活動を紹介した。またドイツ団参加者と設定されたテーマについて意見交換を行った。
③選択活動	2コースに分かれ、法人ボランティアと共に研修を行った。 ≪ A.ハイキングコース研修 B.施設内クラフト研修 ≫
④美瑛町内小学校訪問 授業参観・交流	美瑛町内の小学校へ訪問し、授業参観や児童との交流を行った。
⑤ホストファミリー プログラム	ホストファミリーとともに2泊3日を過ごし、日本の生活を体験した。
⑥歓送会	ホストファミリーとの最後のお別れ会を行い、思い出をふりかえった。
⑦成果発表会	ドイツ団参加者が本研修の成果を発表した。

◆成果

- 当施設で活動をしているボランティアにとって、団員と意見交換を行うことで日独のボランティア観の相違を知る機会となり、新しい価値観を知る機会とすることができた。
- 年度当初、ホストファミリーの募集に苦戦すると思っていたが、美瑛町在住の方を始めとする家族に手をあげてもらうことができ、団員にとって日本・北海道の文化を知る機会とすることができた。



◆参加者の声（大雪ボランティアからの声）

- 今回の事業に参加する前と後ではドイツやボランティアに対する興味関心を高めることができる機会となりました。日本とドイツとのボランティアへの考えを交流できたことは、私にとって今後活動する上で貴重な財産となりました。これを踏まえて、今後のボランティア活動にも自発的に参加・行動していきます。貴重な機会をご用意していただきありがとうございました。（大学院生1年生）
- 今回、ドイツ団との交流・意見交換の時間はもちろん、大雪ボランティア15人と活動ができ私にとっては大きな刺激となりました。私は高校時代からボランティア活動はしてきたものの、その多くは小学生を対象とした事業に参加することが多かったため、今回ドイツ団の方々の多様な活動分野のお話を聞き、とても刺激をうけました。また、考え方や視野が大きく広がったように感じています。今回の交流は今後のボランティアでの活動はもちろん、大学生活や社会に出てからも活かしていきたいと考えています。（大学1年生）



◆事業運営のツボ・工夫・反省

- 今回、初めて行った事業であったため年度当初より事業が円滑に進めていけるよう計画を行ってきた。とくに、ホストファミリーの募集は、苦戦はしたが美瑛町在住の方を始めとする家族が前向きに取り組んでくれた。
- アレルギーや宗教上の関係があり、食べることができないものに関して事前に本部と調整を行った。



◆事業運営費

合計	500,000円
通信運搬費	4,619円
業務委託費	125,641円
会議費	80,000円
消耗費	46,710円
旅費	135,830円
謝金	107,200円

